

公共施設の在り方に関する研修会 アンケート結果

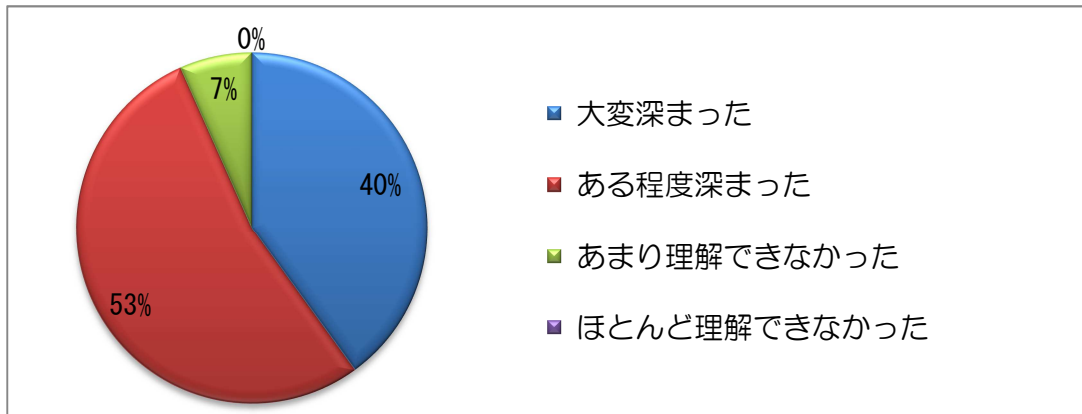
日 時：平成 25 年 12 月 20 日（金） 14:00～15:40

場 所：常滑市役所 2 階大会議室

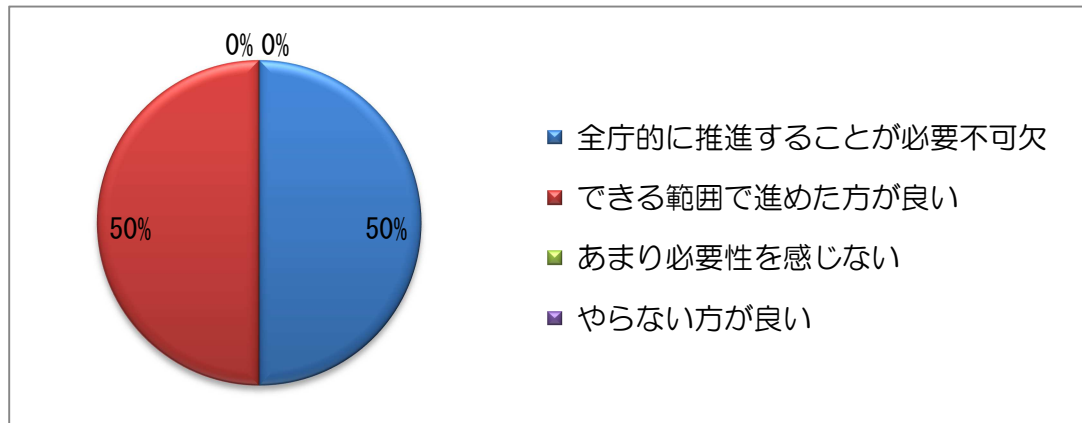
講 師：大阪府貝塚市総務部庶務課 FM 担当 七野司氏、下中孝彰氏

出席者：市職員 31 名

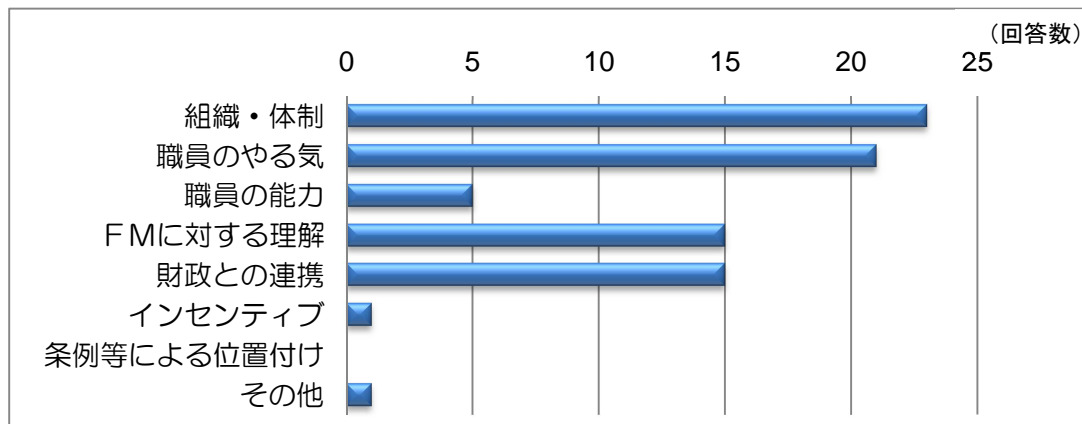
1. FM に対する理解が深まったか。



2. FM の必要性についてどう思うか。



3. FM を推進する上で重要と思われることは何ですか（複数選択）



「その他」意見としては、「ノウハウ」、「システム化」が挙げられました。

4. 「貝塚市における FM の取り組み」の講演はどうでしたか。

- ・ わかりやすかった。
- ・ 1 つ 1 つわかりやすい言葉を使っただけの説明だったので、「FM」についての予備知識がない状態でも理解できた。
- ・ 「FM」の定義と実践できることとのギャップを感じた。「FM」が多岐に渡る可能性を秘めている反面、具体的な取組との関わりが理解しづらい。

5. 今回の FM 研修で学んだことは何ですか。

- ・ まずはやってみようとする姿勢が大切である。他の市、部署との連携をやっていくことが大切と思った。
- ・ 何のためにやるか、全庁的、全市的な視点をボトムアップでやっている事例を見て刺激を受けた。
- ・ FM については名前を知っていた程度だったので、学ぶ機会が持ててありがたかった。どれだけいいシステムでも時間がかかり、組織全体で計画的に進めないといけないと感じた。
- ・ マニュアルを作成して、各施設長が点検できるようにした。それにより、FM 担当でも優先順位をつけて予算担当に情報提供できる方法はすごいと思った。ぜひ本市にも。
- ・ 委託の委託というか、職員が知識を持っていないと、結果として、市民に危険が及んでしまう。
- ・ すでに実践していることもあり、(照明の間引き、グリーンカーテン等) もっと PR してもよいのではないか。
- ・ 管理している施設を本当に理解しているのかを学んだ。当市でどうアレンジできるか。
- ・ 専門職員の必要性。まず技術職が率先してやるべき

6. お気づきの点がありましたら自由に記入してください。

- ・ 個々の取り組みを見ると当市もある程度実施しているが、なぜか大きな差を感じた。
- ・ 本日の講話をしてくださった 2 名は建築の技術職員のようにでしたが、常滑市にも必要ではないか。